

9月第5号補正予算 物価高騰給付金、タクシー券2枚 加配、オミクロン・インフルエンザワクチン

事業名	対象	内容	予算
電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業 (国制度)	住民税非課税世帯4,800世帯 家計急変世帯200世帯	1世帯/5万円	2億6052万6千円
碧南市高齢者臨時応援給付金支援事業 (国交付金8割)	65歳以上住民税均等割非課税者5,400人	1人/15,000円	9239万円
福祉タクシー料金2枚	障がい者等	1人/2枚	125万6千円
高齢者タクシー券2枚	65歳以上非課税・要介護	1人/2枚	156万円
外出支援サービス1回	65歳以上単身・夫婦	1人/1回	10万5千円
高齢者インフルエンザ予防接種事業 (県)	65歳以上 17,666人	R4年度のみ全員無料	1647万9千円
新型コロナワクチン接種事業	オミクロン対応ワクチン	5万6685人に順次クーポン送付	2億3133万円

10月からいつせい値上げ

政府は、2022年9月9日に開かれた「物価・賃金・生活総合対策本部」の会合で、電力・ガス・食料品などの価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯に対し、1世帯当たり5万円をプッシュ型で支給することを決定しました。碧南市では9月30日の9月議会最終日に第5号補正予算が可決し「左表」の施策が実施されます。

国11世帯/5万円、市11人/1万5千円

国は、住民税非課税世帯と家計急変世帯(申請)に世帯/5万円。市(国交付金8割)は、国の制度から漏れた、65歳以上の住民税均等割非課税者に1人1万5千円を支給します。10月下旬から確認書を送付し、対象者が返送すればお金を振込します。

タクシー券2枚追加交付

コロナオミクロンワクチンが追加接種となったため、福祉タクシー券、高齢者タクシー券を2枚追加交付します。現在受給者は、市から追加2枚を送付します。外出支援サービスも1回追加となります。

インフルエンザワクチンは無料で

愛知県は、新型コロナ第8波対策として、65歳以上(特定疾患は60歳)にインフルエンザワクチンを2022年度のみ全員無料で接種できるようにします。本来は10月から接種開始しているのですが、かかりつけ医で早めに接種してください。

オミクロンワクチンで2億3千万円

オミクロンワクチンは、2023年3月まで接種期間を延長。5歳から対象となります。ワクチン接種後5ヶ月経過の方に順次接種券が送付されます。かかりつけ医で予約の上、接種してください。

75歳医療費2割負担こそ撤回を

国は、物価高騰対策を行う一方で、10月から75歳以上の2割負担(単身で年2百万円以上、夫婦で320万円年間所得対象)全体の2割3割に強化を脅かす。命と健康を脅かす負担強化は廃止すべきです。

本気の省エネ再エネを 1億4千万円の電気料を太陽光に

10月6日衣浦衛生組合議会の一般質問で日本共産党山口はるみ議員は、公共最大のCO2発生源のごみ焼却施設での削減施策を気候危機打開のために求めます。現在、衣浦衛生組合の5施設では合計1億1447万円の電気料を年間支払っています。一方、碧南市役所本庁は3221万円です。合計1億4千万円以上の電気料となります。これを太陽光発電に切り替えれば、10年間で10億円以上の設置費用に振り向けられます。

	使用量/kwh	料金 (円)	燃料費 (円)	CO2排出量 (t)	H30比削減率
衣浦衛生組合					
ごみ処理	4,161,177	83,331,585	22,153,010	9,805	△7%
余熱利用	893,850	17,467,592	12,144,000	662	△1.2%
し尿処理	478,156	9,371,861	81,209	197	△15.5%
斎園	116,097	3,053,342	11,996,701	338	1.20
リサイクル	35,989	1,247,875	7,804	14	△39.1%
合計	5,685,269	114,472,255	46,382,724	11,016	△6.7%
碧南市役所					
碧南市役所	1,522,598	32,217,401	2,741,200		

気候危機打開のため 衣浦衛生組合の2030・2050年度CO2削減目標を明確に

ゴミ減量と再エネが“かなめ”

衣浦衛生組合議会 一般質問
10月6日木曜日 山口はるみ

気候危機打開のために

- ① 「1.5℃の約束、今すぐ動こう。気温上昇を止めるために」 TBSなど民放キー局とNHKの6局が、地球の温暖化防止を呼びかける共同動画を制作。1.5℃についての認識は
- ② 地球温暖化対策実行計画（2021～2025年度）について
- ア、なぜ事務事業編としているのか
- イ、2025年目標の5%削減 11, 213 t-CO2に対して最新の現況は
- ウ、指針本部の設置状況と会議の開催状況は
- エ、進捗状況の報告（年一回ホームページで行うとしている）
- オ、2018年で完了した「循環型社会形成推進地域計画」と「改善計画」県からの所見、自己評価。はどう生かされ、具体的な数字とされているのか。
- カ、2023年までの「目標達成に向けた方策」は、2022年度までに、どう実施され数字で変化させたのか。
- キ、実行計画の見直しを行って、2030年目標46%CO2削減、2050年目標100%削減とすべき。
- ク、西三河10自治体で2050年ゼロカーボンシティとなっていないのは、碧南市と高浜市だけ。衣浦衛生組合としても2050ゼロカーボンを目標にすべき。
- ケ、CO2排出の89.3%を占めるクリーンセンター衣浦での実効性ある削減施策を。
- コ、可燃ごみの成分分析は。選定枝、生ごみのたい肥化、利活用で、思い切ったゴミ焼却の減量を。

1.5℃の約束 今すぐ動こう、気温上昇を止めるために

NHKスタジオに民放キャスターが集結！気候危機を食い止めるために、いま私たちにできることを一緒に考えます！！

共有

1.5℃の約束 ホームページより

リサイクルセンターは太陽光で賄える

衣浦衛生組合は、平成25年から20年間の契約で、民間に屋根を貸して太陽光発電を行っています。リサイクルセンターは、年間3万5989KWを超える4万8066kwが発電されています。プールの駐車場に屋根をつけて設置するなど知恵を使えば再エネへの切り替えは可能です。



日本共産党碧南市議会議員団のホームページをごらんください。

日本共産党碧南市委員会



市議会議員 市議会議員 市民運動部長
山口はるみ **岡本守正** **磯貝明彦**
 ☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718
 三度山町 2-70-4 笹山町 6-29 若松町 3-253

午前11時～12時
東浦町6-17
ピアゴ碧南東店
(日進小学校南)

10月19日 (水曜日)

戦争法廃止改憲許すな へきなん 19行動

施設	計画発電量	年間発電
	k w	k w
し尿施設	20	19,490
リサイクルセンター	38	48,066
サンビレッジ	323	59,531